

決算説明資料

(2016年12月 第2四半期決算)

2016年8月5日
東証2部

オーナンバ株式会社

目次

ONAMBA CO.,LTD.

I . 決算の概要(PL、BS、CF等)

II . 2016年度上半期のトピックス

III . 2016年度下半期の取組

〔連結損益〕

(単位:百万円)

科目	2015年第2四半期累計期間		2016年第2四半期累計期間		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	20,604	100.0%	18,945	100.0%	△1,658	△8.0%
売上原価	17,548	85.2%	15,530	82.0%	△2,018	△11.5%
販売費・一般管理費	2,911	14.1%	2,844	15.0%	△66	△2.3%
営業利益	143	0.7%	570	3.0%	427	296.7%
営業外収支	73	0.4%	△115	△0.6%	△188	—
経常利益	217	1.1%	455	2.4%	238	109.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	0.2%	37	0.2%	△4	△9.7%

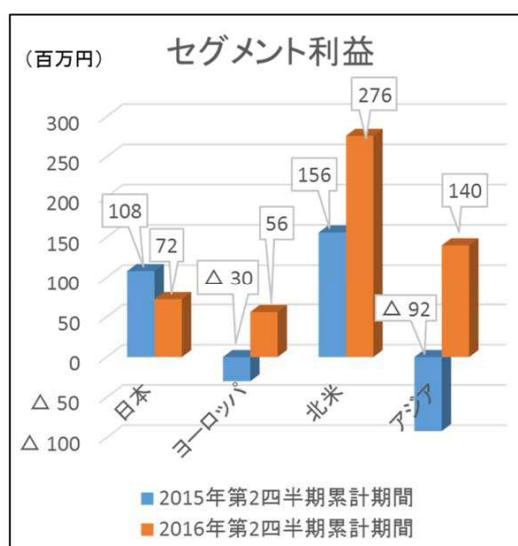
《売上高》 車載用・産業用等のワイヤーハーネスの売上は増加したが、太陽光発電関連製品の売上減少や円高の影響により、売上は8%減少した。

《営業利益》 売上は減少したが、コストダウンの徹底及び為替対策などの施策を進めた結果、営業利益は増加した。

3

セグメント情報

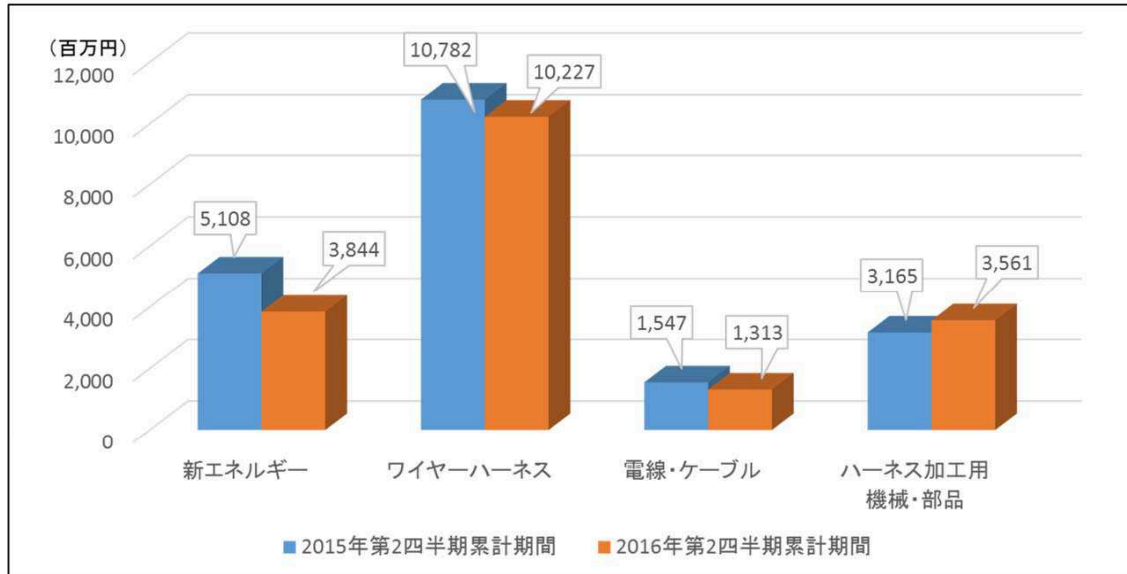
ONAMBA CO.,LTD.



《売上高》 日本は、太陽光発電関連製品の売上が減少した。海外では、円高の影響により横ばいとなった。

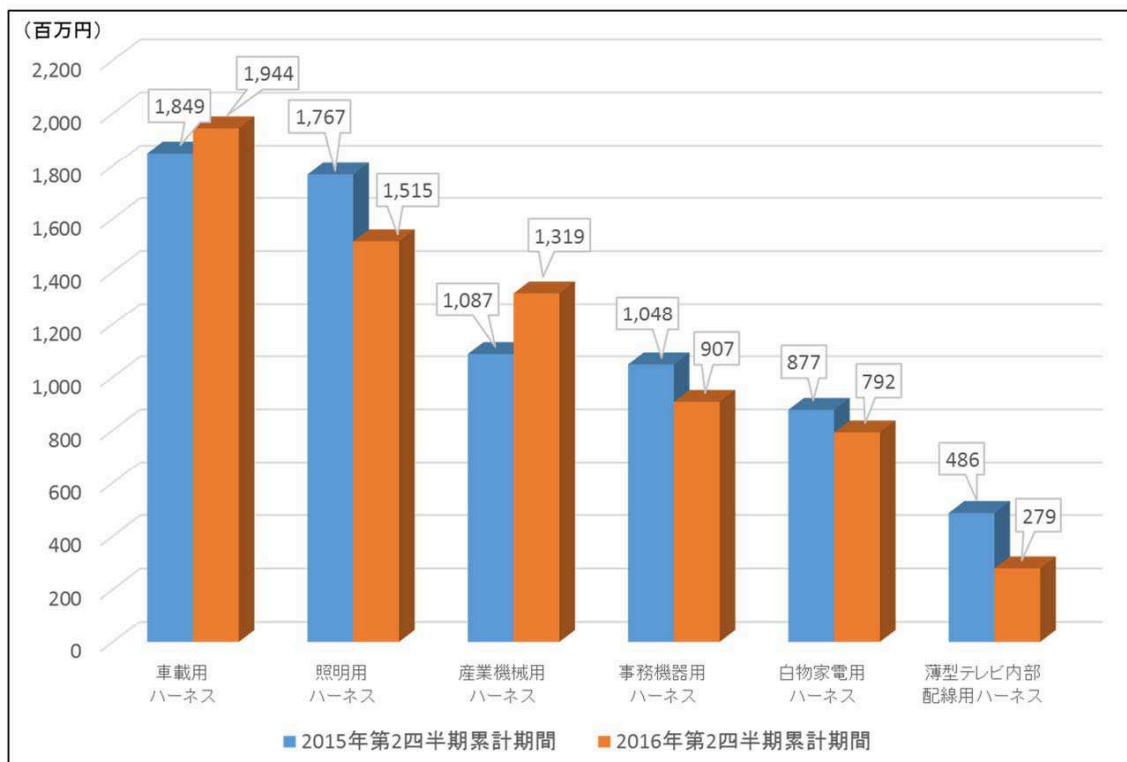
《セグメント利益》 日本は太陽光関連製品の売上減少により利益は減少したが、海外では製造原価低減の取組を行った結果、利益は増加した。

4



ハーネス加工用機械・部品部門の売上は増加したが、新エネルギー部門は太陽光発電関連製品の需要の低下により売上は大幅に減少した。

ワイヤーハーネスの主な製品別売上高



◆設備投資

有形固定資産取得額 232百万円

減価償却費 342百万円

(主な投資内訳)

製造設備合理化及び設備更新に対する投資

◆人員の推移

(人)

2015年12月末	2016年6月末	増 減
5,340	4,790	△550

(増減理由)

主として、マレーシア子会社の清算により減少した。

7

連結財政状態(主要な科目)

ONAMBA CO.,LTD.

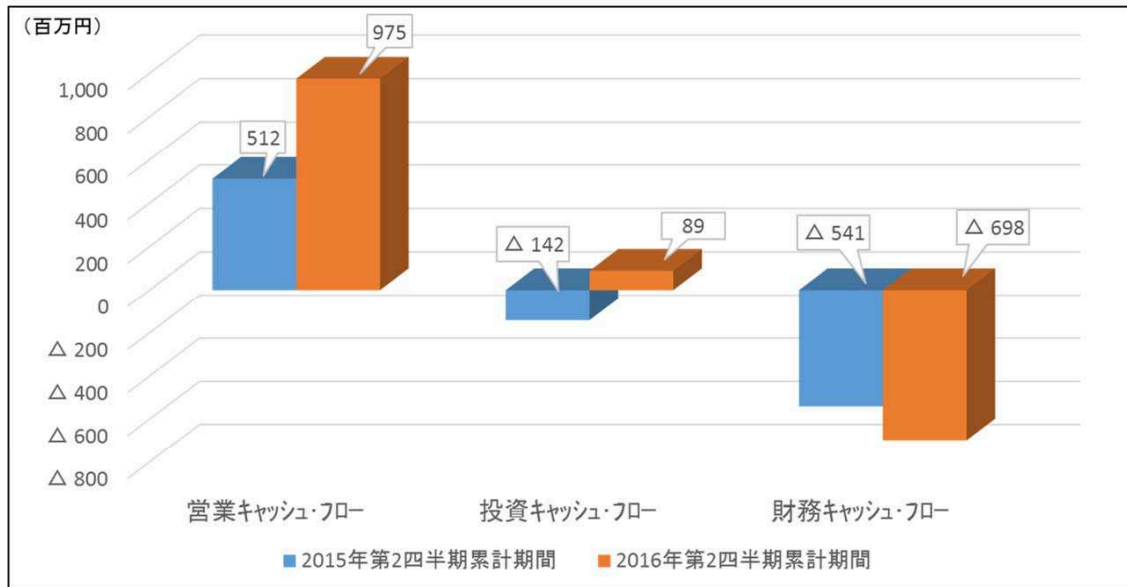
(単位:百万円)

科 目	2015年12月末		2016年6月末		増 減
	金 額	構成比	金 額	構成比	
流動資産	24,510	74.3%	21,913	75.2%	△2,596
(現金及び預金)	5,807	17.6%	5,560	19.1%	△246
(売掛債権)	11,661	35.4%	10,609	36.4%	△1,051
(たな卸資産)	6,280	19.1%	5,224	17.9%	△1,056
固定資産	8,457	25.7%	7,238	24.8%	△1,218
(有形固定資産)	6,106	18.5%	5,216	17.9%	△889
資産合計	32,967	100.0%	29,152	100.0%	△3,815
負債	16,657	50.5%	14,177	48.6%	△2,479
(買掛債務)	6,685	20.3%	5,334	18.3%	△1,351
(有利子負債)	7,545	22.9%	6,527	22.4%	△1,018
純資産	16,310	49.5%	14,974	51.4%	△1,335
負債・純資産合計	32,967	100.0%	29,152	100.0%	△3,815

たな卸資産の削減や固定資産売却により資産を圧縮したことに加えて、円高による為替換算の影響もあり、総資産は減少した。

その結果、自己資本比率は47.8%から49.5%へ上昇した。

8



営業キャッシュ・フローは、コストダウンの徹底及び為替対策の取組と、たな卸資産削減などの施策により、975百万円の収入となった。
一方、財務キャッシュ・フローは、長期借入金の返済を行ったことなどにより698百万円の支出となった。

Ⅱ. 2016年度上半期のトピックス

1. 新製品の開発・販売

- ・今後拡大するPCS分散型太陽光発電所対応の監視システムの開発。
- ・MATAS(メンテナンス・タイミング・アシストシステム)の横展開による販売促進。

2. 新製品、新規得意先の開拓・拡販金額

(単位:百万円)

項目	実績
ハーネス加工用機械・部品	1,076
産業機械用ハーネス	599
太陽光関連製品	557
車載用ハーネス	274
その他	658
合計	3,165

3. 総原価低減の推進

- ・為替対策の実施(為替スライド制の導入など)
- ・最適地生産の実施(中国から東南アジアへの変更など)

1. 事業拡大に向けた取組強化
 - ・新製品開発・新規開拓の推進

2. グローバル事業改革
 - ・グローバルでの営業強化
 - ・生産拠点の見直しと再編

3. ものづくり力の強化
 - ・ワイヤーハーネス生産革新

本資料の将来予想に関する記述は、経済情勢や社会情勢の変化により、実際の業績と異なる場合があることをご承知おき下さい。